

事業番号	04	05	05	事業改善シート（28年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 予算要求		<input type="checkbox"/> 当初予算案		<input type="checkbox"/> 補正予算案		<input checked="" type="checkbox"/> 点検		
事業名	国際化啓発事業								担当課	部局	県民文化部					
総合5か年計画	プロジェクト									課・局・室	国際課					
	施策の総合的展開		2－2 協働、人権尊重、男女共同参画社会の実現 4 国際化の推進							E-mail	kokusai@pref.nagano.lg.jp					
									実施期間		S52 ～					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針		6－4 大都市・海外との未来志向の連携													
	施策展開		4－(2) 信州に根付くつながりの継承 (ウ) 文化・芸術・スポーツ活動等による地域の活性化													

1 事業の概要

目指す姿	○国際交流員等の活動を通じて、県民の国際感覚の涵養が図られ、異文化理解・国際理解が促進され、県全体の国際交流が活発になる。 ○地域の国際化を推進するため、長野県国際化協会の運営基盤を強化する。 ○県の課題解決の知見を共有し、経済・文化面での交流を拡大することにより、海外との互惠関係を構築する。											
現状 (予算編成時)	○県民が行う国際交流イベントへの派遣要請に応じ国際交流員等を派遣している。 ○外国籍県民の定住化が進行し、地域の国際化を推進するため、長野県国際化協会は、国際交流事業のほか外国籍県民等の生活支援事業を展開している。 ○知事訪問等により、それぞれの国との具体的な協力・連携関係(パートナーシップ)の推進に向けた方向性についてコンセンサスが得られた。											
県が関与 する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 ○県民の自発的な国際交流を促進するための環境整備は県の役割である。 ○長野県国際化協会の担う役割は公共性が高く、平成25年4月から公益財団法人に移行。 ○姉妹・友好提携の当事者である。									
	県民との協働による実施： 実施中											
成果目標・ 事業内容	① 成果目標(H28) ○県民の国際交流活動を支援するため、国際交流員2名が派遣要請に応じる。(H26 2名 実績 132回) ○長野県国際化協会の運営体制の強化を図り、必要な関与を行う。(協会事業の目標 アンビニュースの発行部数、留学生の定着促進事業企業訪問数) ○ベトナムでの市場調査や視察、意見交換の結果をとりまとめ、各分野における今後の経済交流、技術協力に生かす。【6月補正】											
	② 事業内容 (単位:千円)											
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29						
				(当初)	(決算)	(当初)						
	国際交流推進事務費	直接	国際交流に係る事務費	220	212	220						
	英語通訳嘱託員設置事業	直接	県の国際関連業務の通訳及び資料作成に係る翻訳業務	4,238	3,663	4,237						
	中国語通訳嘱託員設置事業	直接	〃	4,640	4,145	4,636						
	国際交流員設置事業費	直接	小中学校等訪問、国際理解講座等で講演、国際交流イベントへの参加や自主企画イベントを開催した(202回)	10,469	9,737	10,118						
	(公財)長野県国際化協会運営補助事業	補助金	運営体制の強化を図るため、補助金を交付して運営を支援	2,606	2,606	3,160						
	ミズーリ州姉妹提携50周年記念事業	直接	姉妹提携50周年を機にミズーリ大学コロンビア校の国際プログラムを受け入れた。	1,035	507	0						
国際関係パートナーシップ強化事業	直接	韓国、中国、米国等との具体的な協力・連携事業を推進し、より一層の関係強化を図る。将来、各分野での交流が期待できるベトナムへ調査団を派遣した。	9,966	10,329	8,147							
ホストタウン推進事業	直接				479							
		合計	33,174	31,199	30,997							
事業 コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	36,073	33,174	30,997				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-3,705	266		国際交流員派遣回数	132回	130回	132回	209回	達成	180回
		合計(A)	32,368	33,440	30,997							
	Aの財源	一般財源	23,407	24,604	22,241	国際交流員派遣満足度	4.6	4.6	4.6	4.6	達成	4.6
		県 債										
		国庫支出金				国際化協会ニュース発行部数	400部	400部	400部	500部	達成	500部
		その他	8,961	8,836	8,756							
	決 算 額(B)		30,310	31,199		国際化協会留学生企業訪問数	2社	2社	2社	2社	達成	2社
概 算 人件費	職員数(人)	2.50	3.50	3.50								
概算人件費(C)		20,690	27,699	27,699								
概算事業費(B(A)+C)		51,000	58,898	58,696								

目標に対する成果の状況	2名(英語圏・中国語圏)の国際交流員は要望に応え、目標を大幅に超える209件の派遣に対応し異文化理解・国際理解の取組みを行った。 長野県国際化協会は、県多文化共生推進指針に基づき県・市町村といった行政機関と連携し、外国籍県民の能力を活用した子どもや大人向けの日本語学習支援、医療通訳ボランティアの育成などの生活支援に取り組んだ。こういった外国籍県民の自助共助活動を紹介する国際化協会ニュースによる一般県民や支援者への周知活動については、新たに小中学校への周知を開始した。県内経済活性化の力となる人財として期待される留学生への支援については大学の授業の都合により、企業訪問は1大学しか参加できなかったが、目標どおり2社を訪問することができた。 ミズーリとの友好交流事業では、ミズーリ大学コロンビア校との間に締結した国際連携を強化する覚書に基づき、5月22日から6月5日まで、ミズーリ大学コロンビア校栄養学専攻の学生研修団9名が来県し、視察研修を実施した。長野県短期大学及び清泉女学院大学との交流を行ったほか、県の工業技術総合センター食品技術部門で発酵食品に関する理論・製造技術を研修したほか、信州味噌製造メーカーでの視察を行うなど、本県の多様な食文化を学んでいただく機会を提供できた。また、ミズーリ州で開催された第48回日本・米国中西部会に副知事が参加し、ミズーリ州知事と懇談を行うなど交流を深めた。 国際関係パートナーシップ強化事業では、河北省を中心とする中国との友好交流の強化のため知事が訪中し、国家体育総局と五輪協力に関する覚書を締結するなど、関係の強化を図った。韓国との間では、11月にソウル特別市と観光交流協約を締結、12月に江原道と友好交流協約を締結し、具体的な交流を開始することができた。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<div>□ 事業を実施しない</div> <div>■ 事業を見直して実施</div> <div>□ 事業を現行どおり実施</div> 国際交流員は、県内の派遣要望にきめ細やかに対応していくとともに、国際交流員自らが企画・実施する事業への取組みを拡充する。 長野県国際化協会は、外国籍県民が求める多様な事業に対応できるよう、必要となる県の関与をしつつ、安定的に運営できる事務局体制を目指していく。 ミズーリとの交流については、ミズーリ大学コロンビア校の視察団の受入れにより、県立長野大学との交流等につないでいくとともに、東京で開催される、第49回日本・米国中西部会に出席し、ミズーリ州との関係強化を図る。 国際関係パートナーシップ強化事業では、日中国交正常化45周年における訪中事業を実施し、中国との更なる関係の強化を図るとともに、2018年2月に韓国江原道平昌郡で開催される、冬季オリンピック・パラリンピック競技大会のセレモニーに出席し、五輪開催地間の連携を構築するとともに、韓国における長野県の認知度・プレゼンスを高めるため、ソウル特別市との関係を構築していく。 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、中国を相手国にホストタウンとして登録を行い相互交流を図る。
--------------------	--